

神戸大学 法学部/法学研究科 2015年度前期

『政治経済学 II』講義要項

時間：水曜3限(13:20-14:50)

教室：第二学舎120

オフィスアワー：月曜, 火曜 12:00-13:00

(他の時間の面談は要予約)

担当教員：矢内 勇生^{やない ゆうき}

研究室：第四学舎404

Email: yanai@lion.kobe-u.ac.jp

Website: <http://www.yukiyamai.com>

授業の目的と到達目標

本講義では、経済格差 (economic inequality) を政治経済学の立場から検討する。経済格差とは何か、格差をどのように測るのか、何が公平なのか、国内の経済格差は国家間の格差とどのように関係するのか、政治が格差の原因なのか、格差が政治にどのような影響を与えるかなどを理解することを目指す。

成績評価の方法

- 授業への参加 (20%)：単なる出席はカウントしない
- 期末試験 (80%)

ただし、受講生の人数によっては変更する場合がある (人数が多い場合は試験の比率を上げ、少ない場合は下げる)。期末試験の実施方法については授業中に案内する。

教科書・参考書

教科書

教科書は指定しない。各回の予習・復習に必要な文献は授業計画を参照。

参考書

参考書として授業全体の内容に関連する本を挙げる。

- 大竹文雄. 2005. 『日本の不平等』日本経済新聞社.
- アビジット・バナジー, エスター・デュフロ. 2012 『貧乏人の経済学 - もう一度貧困問題を根っこから考える』みすず書房.
- ブランコ・ミラノヴィッチ. 2012. 『不平等について - 経済学と統計が語る26の話』みすず書房.
- ロバート・ライシュ. 2014. 『格差と民主主義』東洋経済新報社.
- 新川敏光, 井戸正伸, 宮本太郎, 眞柄秀子. 2004. 『比較政治経済学』有斐閣.
- 建林正彦, 曾我謙悟, 待鳥聡史. 2008. 『比較政治制度論』有斐閣.
- Salverda, Wiemer, Brian Nolan, and Timothy M. Smeeding, eds. 2011. *The Oxford Handbook of Economic Inequality*. Oxford University Press.

授業計画

全体の授業計画は以下のとおりである。受講生の要望、理解度によって内容を変更することがある。授業計画を変更する場合は授業中に案内し、この講義要項を改訂する。最新版の講義要項は、常に <http://www2.kobe-u.ac.jp/~yyanai/jp/classes/pe2/docs/syllabus-pe2-spring2015.pdf> で入手できる。

各受講生は、各回の「必読」文献を事前に読んで授業に参加すること。「推薦」文献は希望者のみ読めばいいが、大学院生（と大学院で研究をしたい学部生）はできるだけ読むことが望ましい。「推薦」文献は復習に利用してもよい。授業で扱ったトピックについてさらに詳しく知りたい受講生は「参考」文献を参照すること。

文献は各自で入手すること（必ずしも購入する必要はない）。リンク付きの論文は、学内ネットワークでダウンロード可能。

(4/8) 第1回：イントロダクション

Question: なぜ経済格差について学ぶのか

推薦 American Political Science Association Task Force of Inequality and American Democracy. 2004. "American Democracy in an Age of Rising Inequality." *Perspectives on Politics* 2(4): 651-66.

参考 Gilens, Martin. 2012. *Affluence and Influence: Economic Inequality and Political Power in America*. Princeton: Princeton University Press and Russel Sage.

参考 Kenworthy, Lane. 2004. *Egalitarian Capitalism: Jobs, Incomes, and Growth in Affluent Countries*. New York: Russel Sage.

(4/15) 第2回：公平性

Q: 何が公平なのか

必読 大竹文雄. 2010. 『競争と公平感：市場経済の本当のメリット』中公新書 2045.

推薦 Henrich, Joseph, Robert Boyd, Samuel Bowles, Colin Camerer, Ernst Fehr, Herbert Gintis, and Richard McElreath. 2001. "In Search of Homo Economicus: Behavioral Experiments in 15 Small-Scale Societies." *American Economic Review* 91(2): 73-78.

推薦 Fehr, Ernst, and Klaus M. Schmidt. 1999. "A Theory of Fairness, Competition, and Cooperation." *Quarterly Journal of Economics* 114(3): 817-68.

推薦 Kahneman, Daniel, Jack K. Knetsch, and Richard Thaler. 1986. "Fairness as a Constraint on Profit Seeking: Entitlements in the Market." *American Economic Review* 76(4): 728-41.

参考 小塩隆士. 2012. 『効率と公平を問う』日本評論社.

(4/22) 第3回：格差の測定

Q: 不平等・格差をどうやって測るのか？ 測定法が変わると何が変わるのか？

必読 アマルティア・セン. 2000. 『不平等の経済学』東洋経済新報社, 第2章, 第3章.

推薦 Atkinson, Anthony B. 1970. "On the Measurement of Inequality." *Journal of Economic Theory* 2: 244-63.

推薦 Cowel, Frank A. 2000. "Measurement of Inequality." In A. B. Atkinson and F. Bourguignon,

- eds. *Handbook of Income Distribution*. Amsterdam: North-Holland. Vol. 1, Ch. 2:, 87–166.
- 推薦 Deaton, Angus. 2006. “Measuring Poverty.” In Abhijit Banerjee, Roland Bénabou, and Dilip Mookherjee, eds. *Understanding Poverty*, New York: Oxford University Press. Ch. 1: 3–15.
- 参考 Lorenz, M. O. 1905. “Methods of Measuring the Concentration of Wealth.” *Publication of the American Statistical Association* 9(70): 209–19.
- 参考 Gini, Corrado. 1921. “Measurement of Inequality of Incomes.” *Economic Journal* 31(121): 124–26.
- 参考 URL UNU-WIDER. *World Income Inequality Database*.
http://www.wider.unu.edu/research/Database/en_GB/database/
- 参考 URL *Luxembourg Income Study*. <http://www.lisdatacenter.org/>

(4/29) 第4回：Top Incomes

Q: 誰と誰の格差か？「富裕層」はどれくらいの富を握っているのか？

- 推薦 Scheve, Kenneth, and David Stasavage. 2009. “Institutions, Partisanship, and Inequality in the Long Run.” *World Politics* 61(2): 215–53.
- 推薦 Moriguchi, Chiaki, and Emmanuel Saez. 2008. “The Evolution of Income Concentration in Japan, 1886–2005: Evidence from Income Tax Statistics.” *Review of Economics and Statistics*. 90(4): 713–34.
- 参考 Atkinson, Anthony B., and Thomas Piketty, eds. 2007. *Top Incomes over the Twentieth Century: A Contrast Between Continental European and English-Speaking Countries*. New York: Oxford University Press.
- 参考 Atkinson, Anthony B., and Thomas Piketty, eds. 2010. *Top Incomes: A Global Perspective*. New York: Oxford University Press.
- 参考 トマ・ピケティ. 2014. 『21世紀の資本』みすず書房.
- 参考 URL *The World Top Income Database*. <http://topincomes.parisschoolofeconomics.eu/>

(5/13) 第5回：Michael Thies 先生・特別講義

The Political Economy of the Third Arrow

- 推薦 Rosenbluth, Frances McCall, and Michael F. Thies. 2010. *Japan Transformed: Political Change and Economic Restructuring*. Princeton: Princeton University Press. (徳川家広 訳. 2012. 『日本政治の大転換：「鉄とコメの同盟」から日本型自由主義へ』勁草書房)
- 参考 Thies, Michael F., and Yuki Yanai. 2014. “Bicameralism vs. Parliamentarism: Lessons from Japan’s Twisted Diet.” 『選挙研究』30(2): 60–74.

(5/20) 第6回：党派性、世論と格差

Q: 政権が変わると格差の程度も変わるのか？人々の意見は格差に影響を及ぼすのか？

- 必読 Iversen, Torben, and David Soskice. 2006. “Electoral Institutions and the Politics of Coalitions: Why Some Democracies Redistribute More Than Others.” *American Political Science Review* 100(2): 165–81.

- 推薦 Bartels, Larry M. 2008. *Unequal Democracy: The Political Economy of New Gilded Age*. New York: Russel Sage and Princeton University Press.
- 推薦 Esarey, Justin, Timothy C. Salmon, and Charles Barrilleaux. 2012. “What Motivates Political Preferences? Self-Interest, Ideology, and Fairness in a Laboratory Democracy.” *Economic Inquiry* 50: 604–24.
- 推薦 Kenworthy, Lane, and Leslie McCall. 2008. “Inequality, Public Opinion, and Redistribution.” *Socio-Economic Review* 6(1): 35–68.
- 参考 Beramendi, Pablo, and Christopher J. Anderson, eds. 2008. *Democracy, Inequality, and Representation*. New York: Russel Sage.
- 参考 Schlozman, Kay Lehman, Sidney Verba, and Henry E. Brady. 2012. *The Unheavenly Chorus: Unequal Political Voice and the Broken Promise of American Democracy*. Princeton: Princeton University Press.
- 参考 ポール・クルーグマン. 2008. 『格差はつくられた：保守派がアメリカを支配し続けるための呆れた戦略』早川書房.
- 参考 大嶽秀夫. 1999. 『日本政治の対立軸：93年以降の政治再編の中で』中公新書 1501.

(5/27) 第7回：金銭以外で測る幸福

Q: 経済以外にはどのような不平等・格差があるのだろうか？

- 必読 Boix, Carles, and Frances Rosenbluth. 2014. “Bones of Contention: The Political Economy of Height Inequality.” *American Political Science Review* 108(1): 1–22.
- 推薦 Becker, Gary S., Tomas, J Philipson, and Rodrigo R. Soares. 2005. “The Quantity and Quality of Life and the Evolution of World Inequality.” *American Economic Review* 95(1): 277–91.
- 参考 Fogel, Robert William. 2004. *The Escape from Hunger and Premature Death, 1700–2100: Europe, America, and the Third World*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 参考 カワチ・イチロー. 2013. 『命の格差は止められるか：ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業』小学館 101 新書.
- 参考 United Nations. *Demographic Yearbook 2013*.

(6/3) 第8回：再分配

Q: 格差の政治的縮小？

- 必読 井堀利宏. 2009. 『誰から取り、誰に与えるか：格差と再分配の政治経済学』東洋経済新報社：第1章, 第4章.
- 推薦 小塩隆士. 2012. 『効率と公平を問う』日本評論社.
- 推薦 Benhabib, Jess, and Adam Przeworski. 2006. “The Political Economy of Redistribution under Democracy.” *Economic Theory* 29(2): 271–290.
- 参考 Meltzer, Allan H., and Scott F. Richard. 1981. “A Rational Theory of the Size of Government.” *Journal of Political Economy* 89(5): 914–927.
- 参考 Lupu, Noam, and Jonas Pontusson. 2011. “The Structure of Inequality and the Politics of Redistribution.” *American Political Science Review* 105(2): 316–336.

(6/10) 第9回：貧困

Q: 格差のリスクとは何か？

- 必読 アビジット・バナジー, エスター・デュフロ. 2012 『貧乏人の経済学 – もう一度貧困問題を根っこから考える』 みすず書房.
- 推薦 ポール・コリアー. 2008. 『最低辺の10億人：最も貧しい国々のためになすべきことは何か？』 日経BP社.
- 参考 ジェフリー・サックス. 2006. 『貧困の終焉：2025年までに世界を変える』 早川書房.
- 参考 アマルティア・セン. 2000. 『貧困と飢饉』 岩波書店.
- 参考 ジョセフ・E・スティグリッツ. 2012. 『世界の99%を貧困にする経済』 徳間書店.
- 参考 Banerjee, Abhijit, Roland Bénabou, and Dilip Mookherjee, eds. 2006 *Understanding Poverty*, New York: Oxford University Press.

(6/17) 第10回：Shanto Iyengar 先生・特別講義 実験の国際比較について

13:45～15:30 フロンティア館プレゼンテーションホール

- 推薦 Kobayashi, Tetsuro, Christian Collet, Shanto Iyengar, and Kyu S. Hahn. 2015. “Who Deserves Citizenship? An Experimental Study of Japanese Attitudes Toward Immigrant Workers.” *Social Science Japan Journal* 18(1): 3–22.
- 参考 Iyengar, Shanto. 2011. *Media Politics: A Citizen's Guide*. New York: W. W. Norton.
- 参考 清水和巳, 河野勝 (編). 2008. 『入門 政治経済学方法論』 東洋経済新報社, 第3章.

(6/24) 第11回：日本の不平等

Q: 日本は不平等か？ 日本の格差は問題か？

- 必読 太田清. 2005. 「フリーターの増加と労働所得格差の拡大」ESRI Discussion Paper Series No.140, 内閣府経済社会総合研究所.
- 必読 大竹文雄. 2005. 『日本の不平等』 日本経済新聞社, 第1章～第6章.
- 推薦 小塩隆士, 田近栄治, 府川哲夫 (編). 2006. 『日本の所得分配：格差拡大と政策の役割』 東京大学出版会.
- 参考 佐藤俊樹. 2000. 『不平等社会日本：さよなら総中流』 中公新書.
- 参考 白波瀬佐和子. 2009. 『日本の不平等を考える：少子高齢化社会の国際比較』 東京大学出版会.
- 参考 橘木俊詔. 2006. 『格差社会：何が問題なのか』 岩波新書 1033.
- 参考 坂野潤治. 2014. 『「階級」の日本近代史：政治的平等と社会的不平等』 講談社選書メチエ 586.

(7/1) 休講

出張のため休講. 6月30日と7月6日のオフィスアワーも中止. 補講は7月22日(水)3限の予定.

(7/8) 第12回：日本の貧困

Q: 日本に貧困は存在するのか？ どのような貧困があるのか？ 何が問題か？

- 必読 原田泰. 2009. 『日本はなぜ貧しい人が多いのか：「意外な事実」の経済学』 新潮社, 第1章～第3章.
- 推薦 阿部彩. 2011. 『弱者の居場所がない社会：貧困・格差と社会的包摂』 講談社現代新書 2135.

参考 湯浅誠. 2008. 『反貧困：「すべり台社会」からの脱出』岩波新書 1124.

参考 原田泰. 2015. 『ベーシック・インカム：国家は貧困問題を解決できるか』中公新書 2307.

参考 山野良一. 2014. 『子どもに貧困を押しつける国・日本』光文社新書 718.

(7/15) 第 13 回：グローバルな格差

Q: グローバル社会における格差と国内の格差の違いとは？

必読 ブランコ・ミラノヴィッチ. 2012. 『不平等について – 経済学と統計が語る 26 の話』みすず書房.

推薦 Firebaugh, Glenn. 2003. *The New Geography of Global Income Inequality*. Cambridge, MA: Harvard University Press.

参考 ジョセフ・E・スティグリッツ. 2006. 『世界に格差をバラ撒いたグローバリズムを正す』徳間書店.

参考 クリステリア・フリーランド. 2013. 『グローバルスーパーリッチ：超格差の時代』早川書房.

参考 Milanovic, Branko. 2005. *Worlds Apart: Measuring International and Global Inequality*. Princeton: Princeton University Press.

(7/22：7/1 の補講) 第 14 回：全体のまとめ

Q: この授業で何が明らかになり、何が明らかにならなかったか

(7月16日から期末試験期間なので、日程を変更する可能性がある)

質問があるときは

授業の内容について疑問があれば、遠慮せずに質問すること。授業に関連する質問であれば、どんな質問でも受け付ける。あなたがわからないと思っていることは、他の受講生もわからないと思っているはず。授業の内容がわからない原因の大部分は教員の説明不足にあると思われるので、授業中にわからないことがあれば積極的に質問してほしい。「この私がわからないいだから、このクラスの誰にもわからないだろう。しかたないから私が質問してあげる」という気持ちが大事。

授業の後に質問したいことを思いついたら、次の授業のときに質問してかまわない。Eメールでの質問も受け付ける。担当教員のメールアドレスはこのシラバスの最初のページに掲載されている。メールで質問する際は、以下のルールを守ること。

1. メール の 題名 (件名、タイトル) を必ず書く (例、「政治経済学1 第3回の内容について質問」)。題名が書かれていないメールは迷惑メールだと判断して読まないかもしれない。
2. 本文 (タイトルではない) に必ず名前 (フルネーム) と学生番号を書くこと。誰から送られてきたかわからないメールには返信しない。
3. 絵文字は使わない!

これらのルールを守ってもらえれば、メールで質問に回答する。